

# 殺虫剤

# トレボン® 粉剤DL

第16753号

種類名：エトフェンプロックス粉剤

特長

- 水稻や大豆などの広範囲の害虫に効果を示します。
- 速効的で長い残効性を持っています。

【有効成分】 エトフェンプロックス ……………0.50%

【性状】 類白色粉末45μm以下 浮遊性指数 20以下 【毒性】 普通物※ 【危険物】 一

【有効年限・包装】 4年・1kg×20

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

トレボンは三井化学アグロ(株)の登録商標です。



1kg

## 商品規格

規格	入数
1kg	20
希望小売価格・税抜（税込価格）	
850円（935円）	
サイズ幅×高さ×奥行（mm）	
個装	145×230×80
重量	1.0kg
外箱	440×220×320
重量	22.0kg
ITFコード	
24571151612072	
JANコード	
4571151612078	

## 適用病害虫・使用方法

作物名	適用場所	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックス
稲	—	イネツトムシ	4kg/10a (4g/m <sup>2</sup> )	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
		カメムシ類 イネミズゾウムシ成虫 ツマグロヨコバイ ウンカ類、コブノメイガ アザミウマ類、イナゴ類 イネドロオイムシ ニカメイチュウ	3~4kg/10a (3~4g/m <sup>2</sup> )				
		イネヒメハモグリバエ フタオビコヤガ	3kg/10a (3g/m <sup>2</sup> )				
小麦	—	ヒメトビウンカ アブラムシ類	4kg/10a (4g/m <sup>2</sup> )	収穫14日前まで	2回以内	2回以内	
豆類（種実）		ハスモンヨトウ マメシンクイガ シロイチモジマダラメイガ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ダイズサヤタマバエ アブラムシ類、アズキノメイガ					
えだまめ		ハスモンヨトウ マメシンクイガ シロイチモジマダラメイガ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ダイズサヤタマバエ					3~4kg/10a (3~4g/m <sup>2</sup> )
やまのいも	—	シロイチモジヨトウ	4kg/10a (4g/m <sup>2</sup> )	収穫7日前まで	3回以内	3回以内	
さといも		ハスモンヨトウ					
ばれいしょ		テントウムシダマシ類					
かんしょ	—	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ	4kg/10a (4g/m <sup>2</sup> )	収穫7日前まで	4回以内	4回以内	
とうもろこし		アワノメイガ					
きゅうり		ウリハムシ					3~4kg/10a (3~4g/m <sup>2</sup> )
すいか	ハスモンヨトウ	4kg/10a (4g/m <sup>2</sup> )	収穫3日前まで				
キャベツ	ハスモンヨトウ アブラムシ類 アオムシ	3~4kg/10a (3~4g/m <sup>2</sup> )		収穫7日前まで			
はくさい	—	アオムシ	4kg/10a (4g/m <sup>2</sup> )	収穫21日前まで	3回以内	3回以内	
だいこん		マメコガネ		収穫14日前まで			
れんこん		カメムシ類		3~4kg/10a (3~4g/m <sup>2</sup> )			—
水田作物、畑作物（休耕田）	ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田	カメムシ類	3~4kg/10a (3~4g/m <sup>2</sup> )	—	—	—	—

■ については有効成分を含む農薬の総使用回数を示すものです。

## 使用上の注意

- 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ見かけ比重がやや大きく、流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を1目盛程度しぼって散布すること。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにすること。
- 散布器具、作業衣などは桑用と必ず区別すること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
  - ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないこと。
  - 関係機関（都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- イネミズゾウムシ成虫に使用する場合、移動範囲が広いのでなるべく広域でいっせいに防除し、畦畔などの周辺雑草にも散布すること。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- 誤食などのないよう注意すること。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合は直ちに水洗すること。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをすること。

## 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- 水産動植物（甲殻類、冷水魚）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池等周辺での使用は避けること。
- 散布後は水管理に注意すること。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

## 引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常の使用方法ではその該当がない。

## 貯蔵上の注意事項

直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。